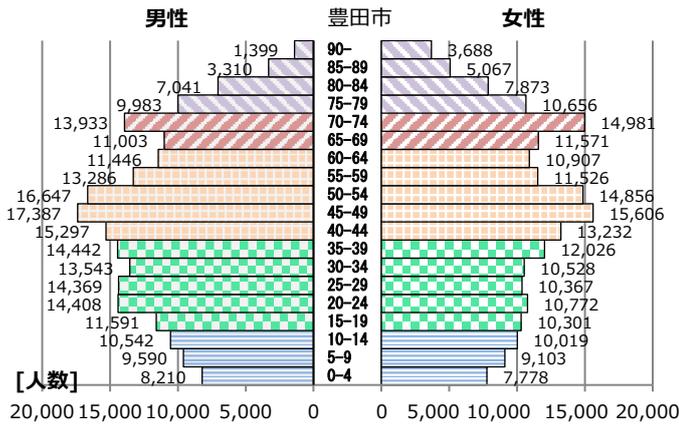


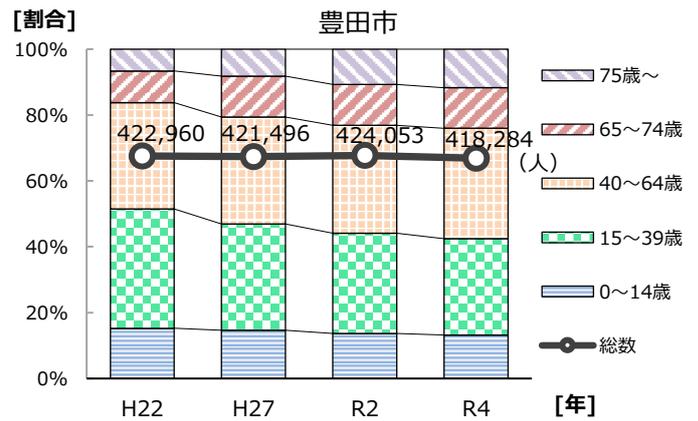
稲武中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



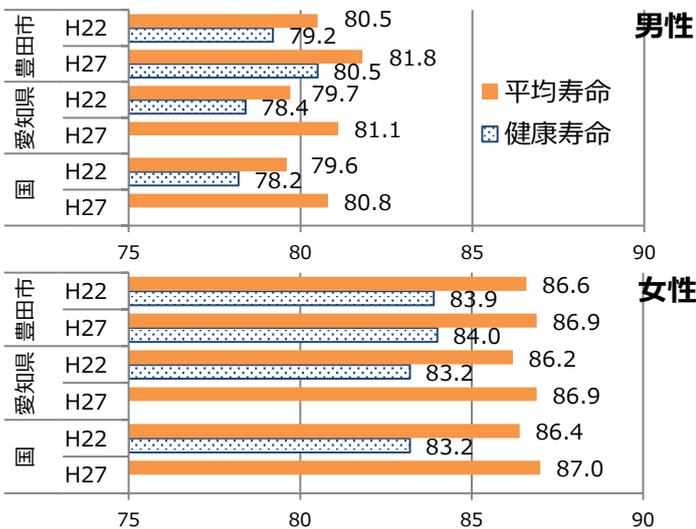
②人口推移 (各年4月1日)



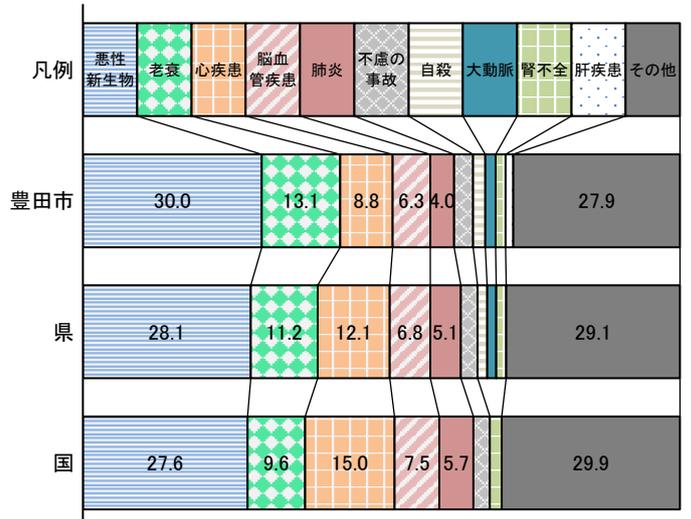
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性 217,427人、女性 200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

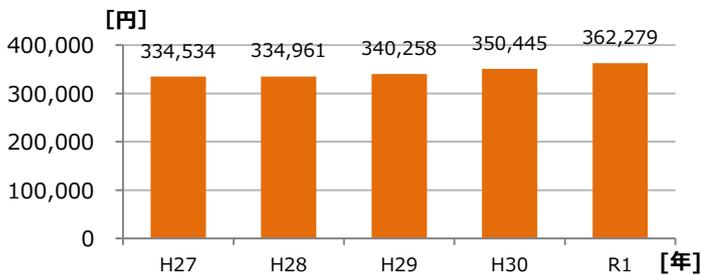


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

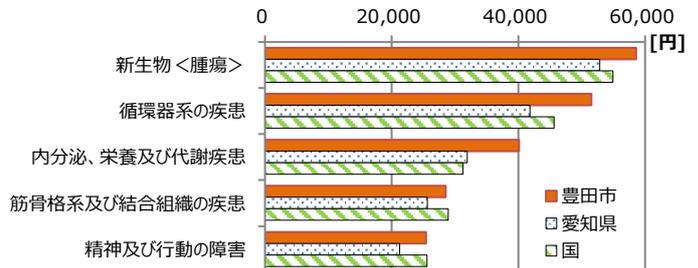


国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

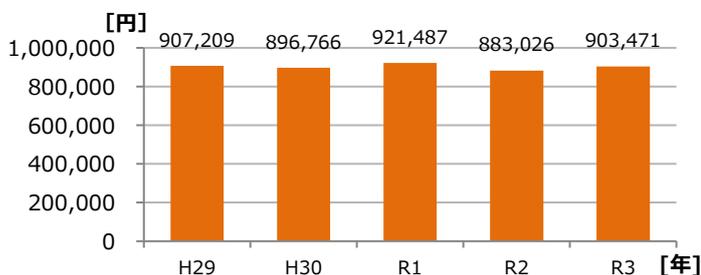


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

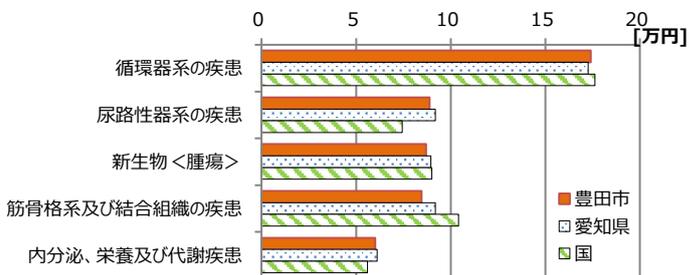


後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

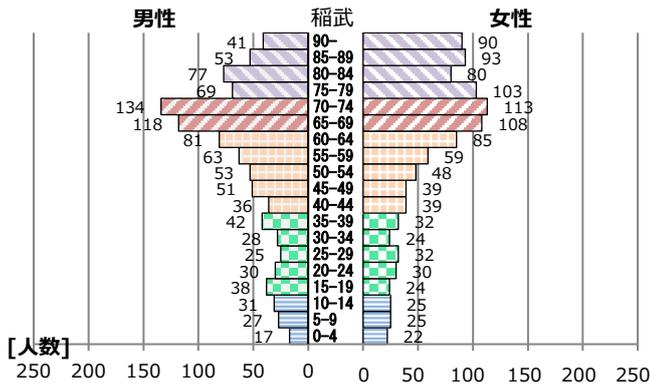


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

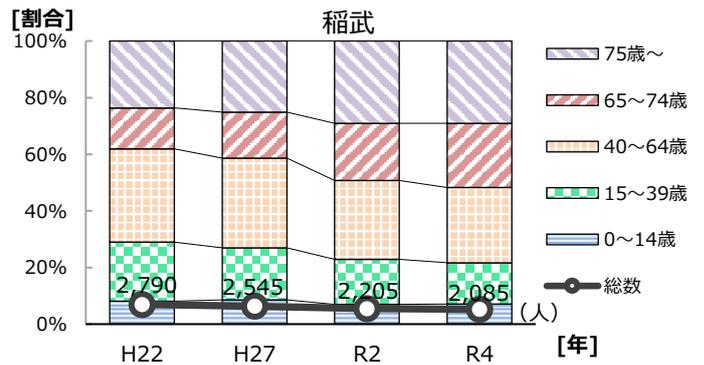


● 稲武地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



・総人口：2,085人 (男性1,014人、女性1,071人)
 ・要介護認定率：18.2% (令和4年10月1日)

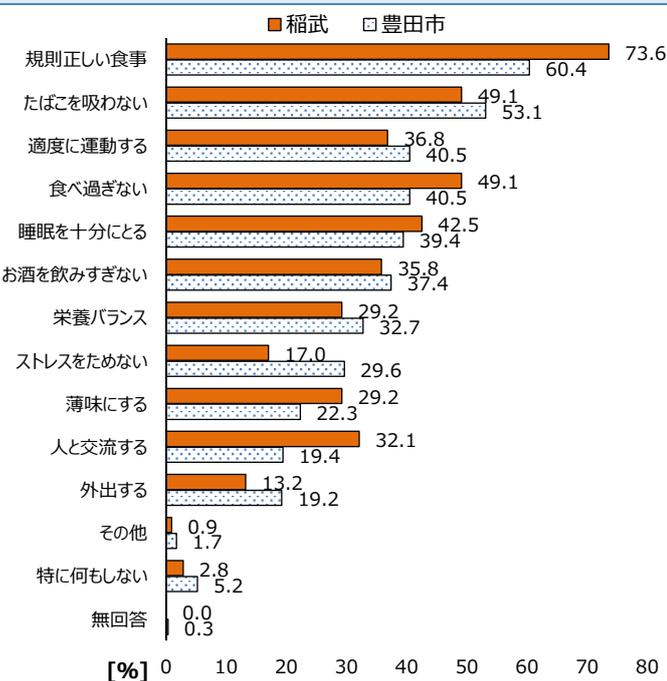
・世帯数：948 ・高齢化率：51.8%
 ・外国人：46人

⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

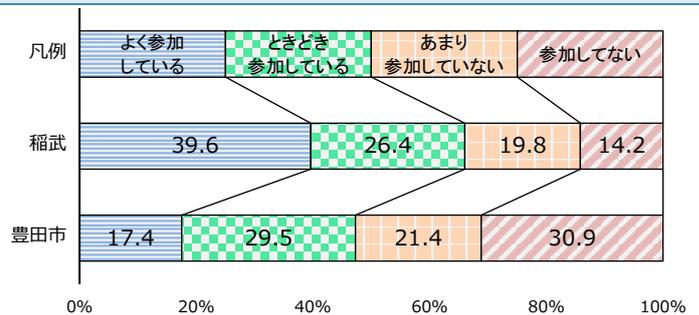
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・13自治区
地域課題解決事業	・城山整備事業(観光交流)、稲武移住定住促進事業(定住対策)、生活道路における支障木伐採事業(交通安全)
交流館	・自主グループ7グループ (うち健康・スポーツは2グループ)
ヘルスサポートリーダー	・会員数1人 足助地区ヘルスサポートリーダーと共に活動をしている。 ・交流館ふれあいまつりで健康啓発ブース出展
高齢者クラブ	・1クラブ
ふれあいサロン	・15サロン
元気アップ教室 自主グループ	・自治区：大野瀬町、小田木町、黒田町、桑原町、御所貝津町、野入町 ・その他：サロン・DO・えんがわ(サロン)、あじさいクラブ(サロン)、タンポポクラブ(サロン)
その他	・「いなぶ健康アカデミー」が感染予防冊子の作成や健康講座等を開催 ・地域の「心と体の健康と安心」を促進するため、豊田市社会福祉協議会稲武支所と豊田市地域医療センターの医師(コミュニティドクター)、看護師(コミュニティナース)が連携し、毎月2回「おせんしょの会 健康よろず相談」を開催 ・NPO法人稲武まちづくり協議会が、健康見守りや、たすけあいカーによる移動支援を実施 ・令和4年度「稲武地区健康づくり事業概要」を作成

市民意識調査(令和3年度)

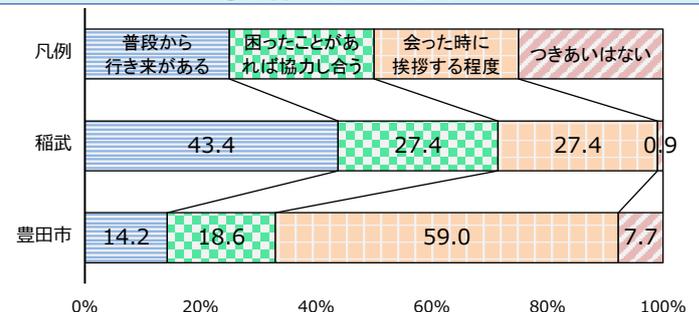
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

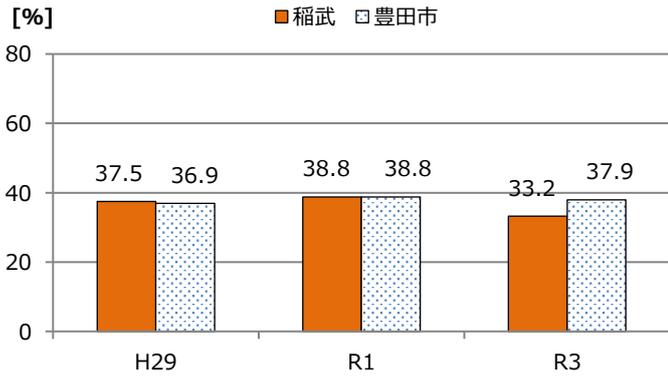


⑮実際の近所づきあい

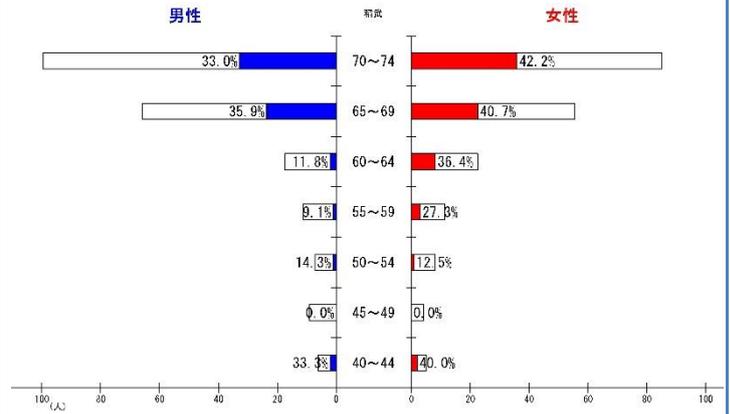


豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

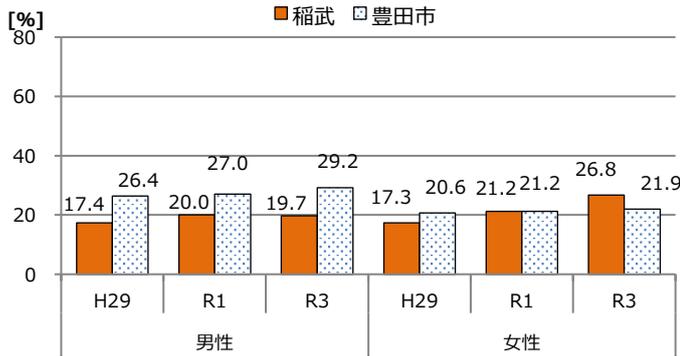
⑯健診受診率



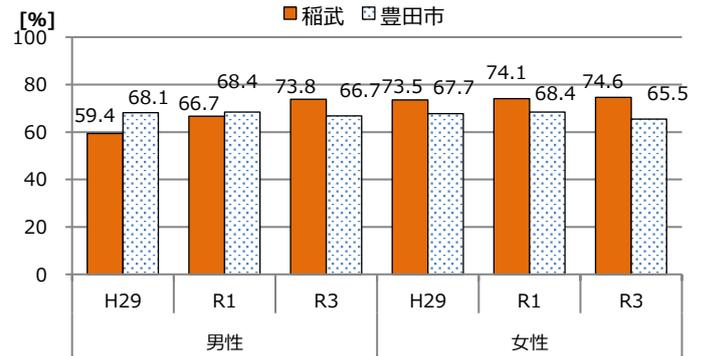
⑰年齢別受診者数(対象者数 398人,受診者数 132人)



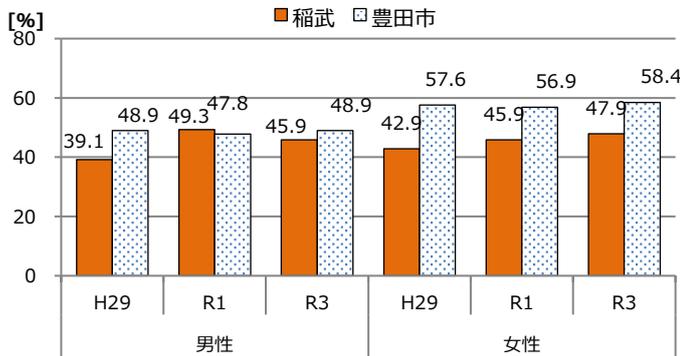
⑱BMI (25以上)



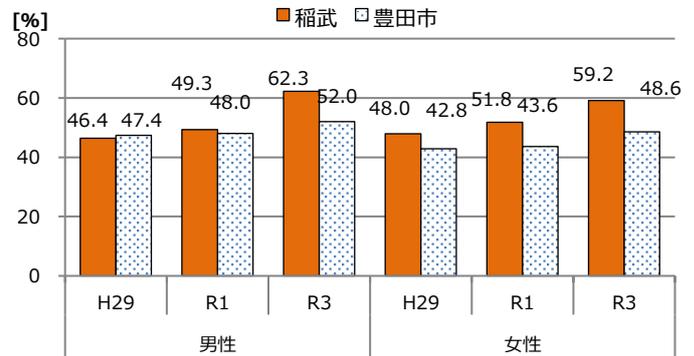
⑲HbA1c (5.6%以上) *糖尿病の指標の検査項目



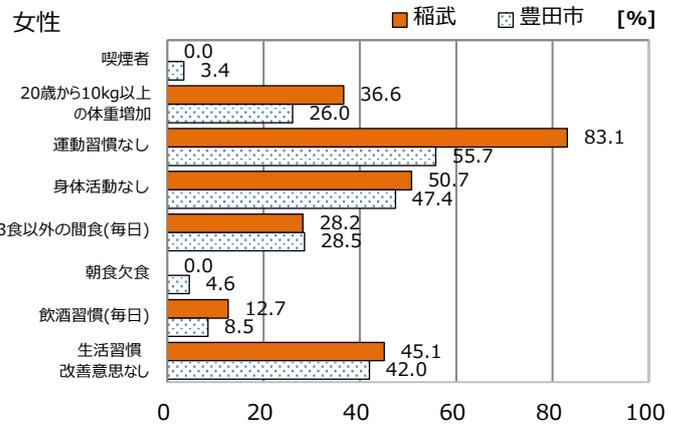
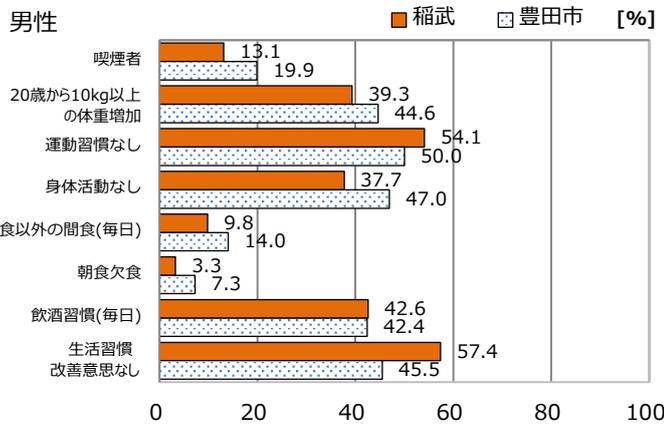
⑳LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



㉑収縮期血圧 (130mmHg 以上)



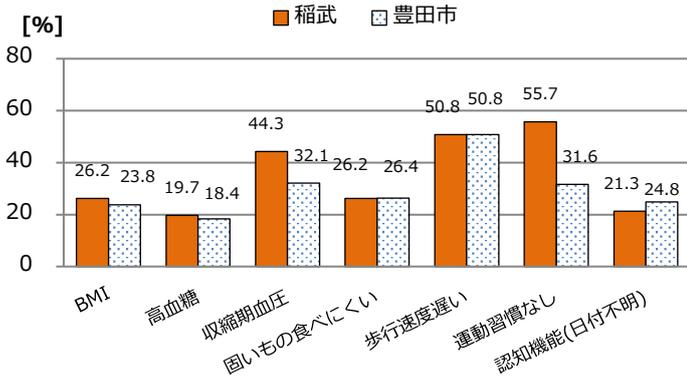
㉒問診



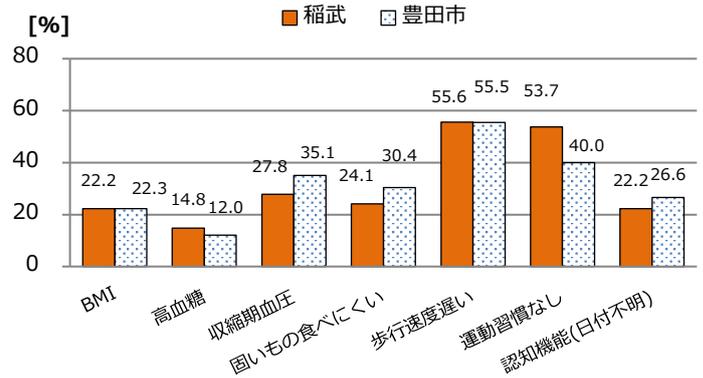
㉓国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	男性	—
	女性	—
国と比べ低い項目	男性	—
	女性	—

㉔男性



㉕女性

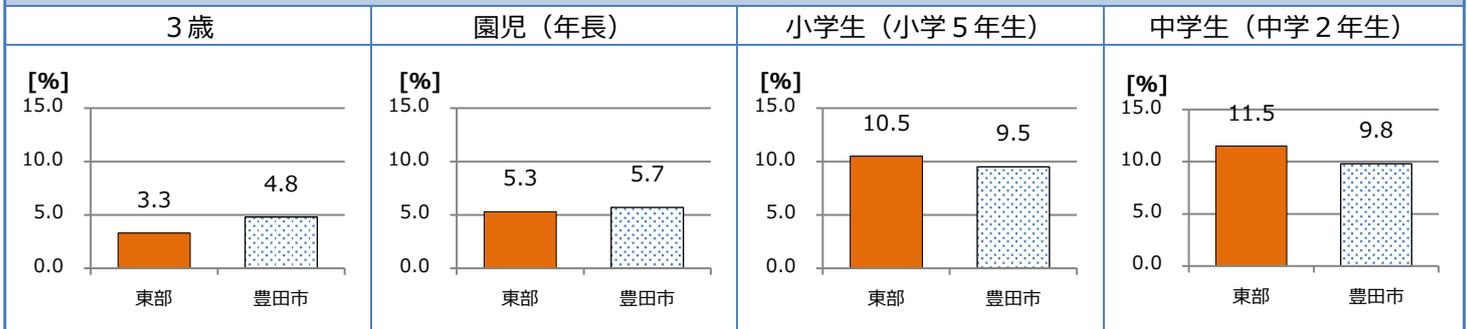


【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上
 【地区の受診者数】 115 人(男性 61 人、女性 54 人)

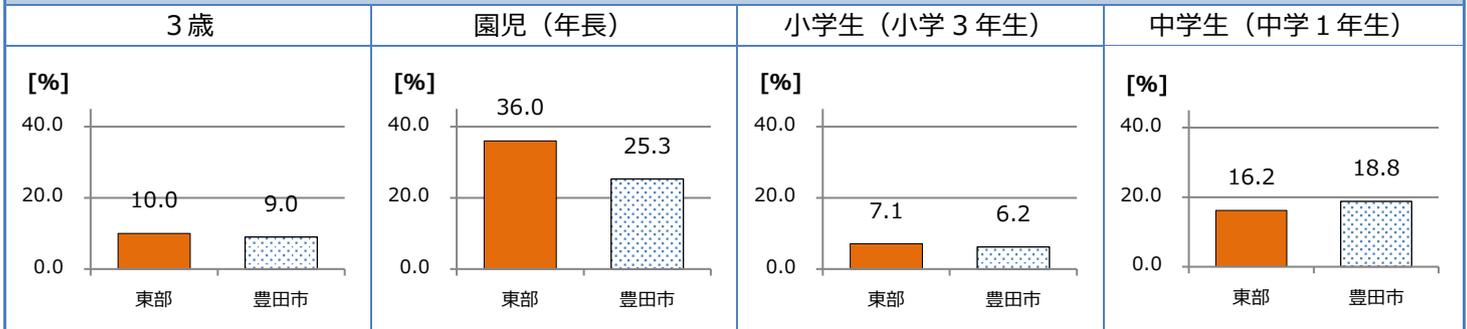
子ども 健康診査(令和3年度)

【東部】 旭・足助・稲武・小原・下山

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査受診率は、市より低い。今後も、健診受診の意識づけや健康管理の動機づけ等受診率の向上に向けた取組が必要である。
- ・国民健康保険特定健康診査結果を市と比較すると、経年的に、女性はHbA1cと収縮期血圧の該当者割合が高いが、LDLコレステロールの該当者割合は低く、男性については、BMIの該当者割合が低い。また、HbA1cと収縮期血圧の該当者割合は、男女共に増加傾向である。問診では男女ともに「運動習慣なし」「生活習慣改善意思なし」の該当者割合が高い。今後も食生活の改善や運動習慣の定着に向けた取組が必要である。
- ・後期高齢者医療制度健康診査結果を市と比較すると、男性は「収縮期血圧」「運動習慣なし」、女性は「運動習慣なし」の該当者割合が高い。高齢化率は50%を超えている。今後も、継続してフレイル予防やつどいの場づくりの取組が必要である。
- ・市民意識調査の「自治区・地域活動への参加状況」や「実際の近所づきあい」の項目が高いことから地域活動に健康の要素を取り入れ、地域ぐるみで健康づくりを推進していくことが効果的と考える。